

単元名:語ろう！日韓の若者文化										
科目名	韓国語	作成日	－		作成者	プロジェクトメンバー				
学年／年次	－	クラス人数	－		使用教科書と課	－				
話題分野	趣味と遊び	言語レベル	4		必要時間数	10時間				
Ⅰ 単元目標										
訪日した韓国の若者を迎えた交流会で、日韓で若者に人気のある映画やスポーツ、芸能、ファッション、遊び、スポットを調べ、「日韓の若者文化」というテーマで紹介しあい、意見交換ができる。				言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科	
			わかる							
			できる							
			つながる							
言語領域			文化領域			グローバル社会領域				
◆訪問団にあらかじめメールやファイルで発表会の内容を伝えることができる。 ◆発表会当日の司会をすることができる。司会は進行係として連絡調整することができる。 ◆韓国で人気のある日本のポップカルチャーについてネットで調べた内容を理解することができる。 ◆韓国の若者文化や余暇の過ごし方についての訪問団の発表を理解することができる。 ◆「日本の若者文化」の原稿を書き、発表することができる。			◆日韓の若者文化、余暇の過ごし方について共通点や相違点を整理し、その背景を考えることができる。 ◆お互いの国で受け入れられている相手の文化や、あまり受け入れられていない文化について、比較し、その理由を考えることができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。			◆韓国で人気のある日本のポップカルチャーをネットやメールを活用して調べることができる。(情報活用) ◆ビデオで撮影し、編集することができる。(情報活用) ◆セッションがうまく進行できるよう、グループで企画・発表の仕方を工夫し、考えることができる。(協働、高度思考) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。				
【趣味と遊び】 4-a. 映画や小説などのあらすじや、イベントの見どころを、口頭で説明できる。 4-b. 相手の国における日本のポップカルチャーについて調べ、現地の若者がどのようにそれを受け入れているかについて、話しあうことができる。 4-c. 日本と相手の国の余暇の過ごし方について、インターネットなどで調べ、その結果を、口頭で発表したり、レポートにまとめたりできる。 4-d. 自分や同世代が余暇にアルバイトをする目的や経験について、口頭または文章で説明できる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。										

Ⅲ 学習活動と評価	
ブレコミュニカティブ活動（語彙・表現習得活動）	学習を助けるための評価（形成的評価）
◆「もう一度見たい・読みたい賞」を目指して、これまでに一番心に残った映画や小説のあらすじと、その理由を語り、クラスで投票する。【4-a】 ◆韓国で人気のある日本のポップカルチャーをネット等で調べ、人気の理由を考えてみる。【4-b,c】 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	◆一番心に残った映画や小説のあらすじと、その理由を語る。（要点の明確さ、伝える工夫、説得力など） ◆訪問団への連絡・案内・依頼するFAXやメールをやりとりする。（丁寧さ、調整力など） ◆交流会の発表のリハーサルをする。（態度、発表の工夫、アピール力、流暢さなど）
コミュニケーション活動（学習シナリオ）	
<場面状況> ○大学の韓国語のクラスでは、韓国からの高校生訪問団受け入れ校を申請した。校内で歓迎会を開催し、その中で「語ろう！日韓・若者文化」交流会を実施することになった。 <活動の流れ> 日本で若者に人気のある映画やスポーツ、芸能、ファッション、遊び、スポットなどを調べ、何を紹介するか、人気の理由は何か、いつそれを見たりしたりするかなどの発表原稿をグループで作成する。ネット等を利用して、韓国で人気のある日本のポップカルチャーについても調べ、人気の理由をグループで考えて、交流会当日の意見交換に備える。 交流会の発表者や司会など、当日の役割分担や進行プログラムを決めて、会の進行、発表を通してリハーサルを行う。映像や音楽などの紹介の仕方、会場の展示・装飾についても工夫する。 韓国からの訪問団には、FAXやEメールで連絡し、予め交流会の内容を伝え、韓国の若者文化や余暇の過ごし方について紹介してもらえるよう頼んでおく。交流会の当日は、日韓双方の発表を行い、意見交換を行う。また、交流会の様子をビデオで撮影しておき、韓国語でコメントをつけて編集し、韓国の訪問団にお礼状とともにビデオを送る。 ヒント ◆韓国の高校生との交流会が開催できない場合は、「リハーサルを行う」ところまでとする。 ◆当日の様子を撮影した映像を見ながら交流会の報告ニュースを日韓の両言語で作成し、韓国の訪問団の高校生に送ったり、校内の後輩たちに配布する。	
<目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）> ◆日本の若者文化に関する原稿を作成する。（内容、構成、情報量など） ◆日韓の若者文化について発表しあい、意見交換する。（ハブニングも含めて臨機応変な対応、交流会のスムーズな進行、批判的な意見・肯定的な意見のバランスなど）	
<使用教材・教具> メール、FAX、インターネット	
教室外（人・モノ・情報）との連繋	他教科の内容との連繋
韓国の高校生訪問団	情報、音楽、国語、総合的な学習の時間（プレゼンテーション）